※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳述倫理」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「生きるとは、どういうことなのか」「どう生きればよいのか」「私や他人とは何であるのか」「どのような私になればよいのか」「どのように他人と接すればよいのか」といったことについて、先人の思想を手がかりに、悩み、考え、自らの方向を見つけていきましょう。

２　学習の到達目標

・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。
・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・個性、感情、認知、発達などに着目して、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解している。 ・幸福、愛、徳善、正義、真理、存在、義務などに着目して、社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な世界観、人生観、倫理観について理解している。その際、人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解している。 ・古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けている。	・自己の生き方を見つめ直し、自らの体験や悩みを振り返り、他者、集団や社会、生命や自然などとの関わりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、平和などと人間との関わりについて倫理的課題を見いだし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。	・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章自己形成と自己の生き方	第1節　青年期の課題と自己形成 1. 青年期とは何か	a:青年期の特徴と意義について理解している。 p. 8 の Check!を通じて、第二の誕生がどのような状態であるかについて適切に読み取っている。 b:人生における青年期の特徴と意義について、多面的に考察し、適切に表現している。 c:青年期の特徴や意義への深い理解を通して、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		2. 自己形成の課題	a:パーソナリティの理論、葛藤や欲求不満とその対処法、青年期の発達課題について理解している。 防衛機制のそれぞれの内容を理解している。 b:自己形成について、多面的に考察し、適切に表現している。 c:青年期の発達課題や自己形成の課題への深い理解を通して、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		3. よりよい生き方を求めて	a:ウェルビーイングや生きがい、生きる意味についての考え方を理解している。 p. 17 の Check!を通じて、幸福感を高める要因について適切に読み取っている。 個性化と社会化の重要性について理解している。 b:よりよく生きる自己の生き方について、p. 17 の TRY!を利用して、多面的に考察し、適切に表現している。 c:よりよい生き方への深い理解を通して、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		第2節　人間とは何か	a:人間のさまざまな特質について理解している。 p. 21 の Check!を通じて、意味の理解と記憶との関係を適切に読み取っている。 b:　人間の知性と感情の特徴について、p. 21 の TRY!を利用して、適切に表現している。 c:人間の特質への深い理解を通して、人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

	第2章人間としてのあり方生き方	第1節　ギリシア思想 1．ギリシア思想の誕生―自然哲学	a:神話的世界観や合理的世界観の成り立ちを理解している。 自然哲学者が世界をどのようにとらえたか理解している。 b:神話的世界観と合理的世界観の違いや変化の背景を考察している。 自然哲学者が果たした哲学的な意義について考察し、表現している。 c: ギリシア思想の理解を通して、哲学的に考察する意義を見出し、自己のあり方生き方について深く考えようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		2．ソフィストたちとソクラテス	a:ソフィストの考え方を理解している。 ソクラテスの主張を原典資料から読み取っている。 b:ソフィストが登場した時代背景やソクラテスが真の知を探求した理由を考察している。 p.28 の Check!を通じて、徳について問答することが人間にとって最大の善だといわれるのはなぜか考察し、適切に表現している。 c:ソクラテスの考え方や生き方の理解を通して、自己のあり方を見つめ直し、よりよく生きる自己を形成しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		3．プラトン	a:プラトンのイデアやエロースなどの意味を理解している。 個人の魂と国家の三階級について、四元徳と関連づけて理解している。 b: p.31 の Check!を通じて、魂がどのようにあるべきかについて具体的な事象と関連づけながら考察し、適切に表現している。 c: プラトンの理想主義の理解を通して、魂のよりよい状態とはどのようなことを指すのか自ら考えようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		4. アリストテレス	a:プラトンとアリストテレスの考え方の違いについて理解している。 p. 34 の Check!を通じて、観想的活動が究極的な幸福であるといわれる理由を原典資料から読み取っている。 b:中庸や正義といった思想内容を、具体的な事象と関連づけて考察し表現している。 p. 35 の TRY!を通じて、プラトンとアリストテレスの正義の考え方をまとめて適切に表現している。 c: アリストテレスの思想の理解を通して、どのような生き方が幸福であるのか考察し、自己のあり方生き方について思索を深めようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		5. ギリシア思想の展開	a:エピクロス派の快楽主義について理解している。 ストア派の禁欲主義について理解している。 p. 37 の TRY!を通じて、ギリシア思想における徳の考え方を「魂」「理性」という言葉を使って説明している。 b:エピクロスが理想とした快楽主義とはどのようなものであるか、具体的な例をあげて考察している。 エピクロスとゼノンの思想を比較したうえで、真の幸福とはどのような状態であるか考察し、適切に表現している。 c:ヘレニズム時代の思想をふまえて、個人の幸福はどのように実現できるか見つめ直し、よりよく生きる自己を形成しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		第2節　キリスト教 1. 古代ユダヤ教	a:ユダヤ教の基本的な教えや性格について理解している。 p. 39 の Check!を通じて、「十戒」の内容を適切に読み取っている。 b:ユダヤ教の基本的な教えをふまえて、戒律や約束を厳格に守って生きることは人間にとってどのようなものとしてとらえられたか多面的に考察し、適切に表現している。 c:ユダヤ教の理解を通して、宗教とはどのようなものであるか考えたり、神と人間の関係について思索したりして、自己の生き方や宗教のあり方に対して関心を広げようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		2. イエス	a:隣人愛について理解している。「山上の説教」や「放蕩息子」などの資料を読んで、それらのたとえを通してイエスが何を教えようとしているか読み取っている。 b: p. 43 の Check!を通じて、イエスの思想を理解したうえで、「誰が襲われた人の隣人になったと思うか」に対して、自分なりの考察を表現している。 p. 43 の TRY!を通じて、敵を排除することと敵を愛すること、どちらが平和を実現するだろうか、自分の考えをまとめて表現している。 c:イエスの愛の教えを通して、自己のあり方生き方を見つめ直したり、他者との関わり方をとらえ直したりして、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		3. キリスト教の誕生と展開	a:贖罪思想について理解している。 アウグスティヌスやトマス=アクィナスの思想について理解している。 b:キリスト教におけるイエスの死の意味について多面的に考察し、適切に表現している。 p. 47 の Check!を通じて、幸福な人生とは、どのようなものとして説かれ、また、幸福な人生には、なぜ真理が必要なのか、原典資料をふまえて適切に表現している。 c:キリスト教の成立やその広がりに関する理解を通して、その成立過程や影響力について主体的に追究したり、理解を深めようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		第3節　イスラーム	a:六信五行の内容について理解している。 p. 51 の Check!を通じて、どのようなおこないが正しいとされるか読み取っている。 b: p. 51 の TRY!を通じて、イスラームの教えが国家、民族をこえて広く受け入れられているのはなぜか、イスラームの教えをふまえて多面的に考察し、適切に表現している。 c:イスラームの理解を通して、人々の信仰と日常生活とが関わっていることに気づき、人間としてのあり方生き方に宗教はどのように影響しているか考えを深めようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		第4節　仏教 1. 仏教以前のインド思想	a:業や輪廻など、バラモン教における人間の死生観について理解している。 ウパニシャッド哲学の基本的な考え方を理解している。 b:　業や輪廻の思想を手がかりにして、バラモン教の考え方をどのように自分なりにどうとらえるか、多面的に考察し、適切に表現している。 c:輪廻の考え方やウパニシャッド哲学をふまえて、人間としてどのような境地をめざすべきか自らの思索を深めようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		2. ブッダの教え	a:苦の原因やそれがもたらすところを理解している。 ブッダの言葉を適切に読み取り、仏教の教えや求められる実践について整理している。 b:ブッダの教えや理想とされる生き方をふまえて、自己のあり方生き方について多面的に考察し、適切に表現している。 p.55 の Check!を通じて、なぜ、仏教では欲望を追求することが戒められるのか、原典資料をふまえて適切に読み取り表現している。 c:ブッダの教えの理解を通して、自己のあり方生き方を見つめ直し、よりよく生きるために何ができるか主体的に追究したり、考えを深めたりしようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		3．大乗仏教の成立とその教え	a:空の思想や唯識思想の基本的な考え方を理解している。 p.59 の Check!を通じて、菩薩の道と菩薩の徳に共通するものを原典資料から適切に読み取っている。 b: 空の思想や唯識思想について、具体的な生活問題や身近な事象に置き換えて説明したり、適切に表現したりしている。 c:大乗仏教の理解を通して、その日本への影響に関心を広げたり、思想内容を理解しようと追究したりすることができている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		第5節　中国思想 1.「道」の自覚―孔子	a:仁と礼について理解している。 孔子の教えを原典資料から適切に読み取っている。 b: p.67 の Check!を通じて、資料から、孔子が、羊を盗んだ父の罪を隠す子を「正直者」といったのはなぜか、自分の考えをまとめて適切に表現している。 p.67 の TRY!を通じて、孔子が理想とした「仁」は、具体的にどのような生き方において実現されるのか、適切に表現している。 c: 孔子の教えを通して、人間としてのあり方生き方に関わる課題について主体的に追究したり、よりよい人間関係を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		2．儒家思想の展開	a:儒家においても考え方の共通性や違いがあることを理解している。 原典資料を適切に読み取っている。 b: p.69 の Check!を通じて、孟子と荀子は、性と実現すべき善の関係をそれぞれどのようにとらえているか適切に読み取り、両者の人間観を考察し、表現している。 c: 儒家思想の理解を通して、理想的な人間としてのあり方生き方について主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		3. 老荘思想	a:老荘思想がめざす道に即した生き方について理解している。 p.72 の Check!を通じて、老子が理想とした生き方は、「道」のどのような性質から導かれるのか、原典資料から適切に読み取っている。 b: p.73 の TRY!を通じて、善悪や美醜といった様々な価値について、儒家と道家はそれぞれどのように考え、何がそうした価値をうみだす基準・根源だと考えたか、自分なりにまとめて表現している。 道に即した生き方について、日常生活など具体的な場面を想定して考察し、適切に表現している。 c:老荘思想の理解を通して、道に即してありのままに生きることの意義について、儒家などほかの考え方と比較しながら考えを深めようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		第6節　宗教・芸術と人生	a: 資料を読み取りながら、芸術の意味について理解している。 b: 宗教や芸術の意義について、多面的に考察し、適切に表現している。 c: 芸術への関心を広げ、人間がそれを通して何を表現しようとしているかについて自ら考えを深め、人生において芸術や宗教が果たす役割について自ら追究しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

	第3章社会・世界と人間としてのあり方生き方	第1節　人間の尊厳 1. ルネサンス	a:ルネサンス期の人々が、どのような生き方をめざしていたかについて理解している。 文学作品や芸術作品の特徴について適切に読み取っている。 b:ルネサンス期の芸術や思想をふまえて、人間らしい生き方について多面的に考察し、適切に表現している。 p. 80 の Check!を通じて、神が人間に自由な意志を与えたのはなぜか、原典資料を読み取り、適切に表現している。 c:ルネサンス期の理解を通して、人間らしいあり方生き方とは何か主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		2. 宗教改革	a:ルター、カルヴァンの思想について理解している。 b:p. 82 の Check!を通じて、キリスト者が主人に対して僕であるとはどういうことか考察し、適切に表現している。 当時の教会権力に対して、ルターらが宗教改革で果たした役割はどのようなものであったか多面的に考察し、適切に表現している。 c: 宗教改革の理解を通して、正しいあり方を貫こうとする態度や考え方を形成しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		3. モラリスト	a:モンテーニュやパスカルの思想を理解している。 原典資料を適切に読み取っている。 b:p. 85 の Check!を通じて、人間が宇宙よりも尊いのはなぜか、多面的に考察し、適切に表現している。 p. 85 の TRY!を通じて、寛容に関して、モンテーニュの主張をふまえ、現代でも文化の異なる人々への非寛容が対立や戦争をうみだしていることなどを参考に、自分の考えをまとめ、適切に表現している。 c:モラリストの思想の理解を通して、人間としてのあり方生き方について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		第2節　科学・技術と人間 1. 近代の自然観	a:機械論的自然観について理解している。 b:機械論的自然観が社会や人々に与えた影響やについて多面的に考察し、適切に表現している。 c:近代の自然観の理解を通して、合理的なものの見方や考え方に気づき、自らの思考の仕方や生き方とつなげて理解しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		2. 新しい学問の方法―経験論と合理論	a:ベーコンが説いた四つのイドラについて理解している。 デカルトの方法的懐疑や物心二元論などを理解している。 帰納法と演繹法を具体的事例をもとに整理して理解している。 ベーコン以外の経験主義の思想およびデカルト以外の大陸合理論の思想について理解している。 b:p.89 の Check!について、人間が自然について知ろうとするのは何のためか考察し、適切に表現している。 帰納法と演繹法について、その学問的意義を多面的に考察し、知の源泉とは何であるかについて適切に表現している。 P.92 の TRY!を通じて、経験論と合理論の違いは何か、「観念」「知覚」「実体」という言葉を使って適切にまとめて表現している。 c:p.90 の Check!を通じて、「わたしは考える、それゆえにわたしはある」が真理であることをふまえて、自我とは何であるか主体的に追究し、思索を深めようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
後期		第3節　民主社会と自由の実現 1. 民主社会の形成―社会契約説	a:ホッブズ、ロック、ルソーそれぞれの国家成立の説明について理解している。 ホッブズ、ロック、ルソーの思想の相違点について整理してまとめている。 b:p.98 の Check!を通じて、社会契約説が登場した意義について多面的に考察し、適切に表現している。 c:社会契約説の理解を通して、社会のあり方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる社会を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		2. 人格の尊厳―カント	a:カントの道徳論について理解している。 カントの思想を原典資料から適切に読み取っている。 b: p. 99 の Check!を通じて、多面的に考察し、具体的な場面と関連づけて適切に表現している。 p. 102 の TRY!を通じて、近代のヨーロッパの思想家たちは人間の尊厳をどこに見出したのか、ピコ、パスカル、カントの考え方をまとめて表現している。 c:カントの思想の理解を通して、人間としてのあり方生き方がどうあるべきかについて主体的に追究している。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		3. 人倫―ヘーゲル	a:精神と歴史の関係や弁証法について理解している。 弁証法ついて原典資料から適切に読み取っている。 b:弁証法をふまえて、p. 105 の Check!について、多面的に考察し、適切に表現している。 c:弁証法の考え方の理解を通して、個人として、また社会の一員としてよりよく生きる人間としてのあり方生き方を捉え直そうとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		第4節　社会と個人 1. 個人と社会との調和―功利主義	a:アダム=スミスの思想や功利主義の考え方について理解している。 ベンサムやミルの思想を原典資料から適切に読み取っている。 b:p. 108 の Check!を通じて、快楽と苦痛が人間を支配しているとはどのようなことか、具体的な事例をあげて、適切に表現している。 p. 109 の Point について、カントの動機説と対比して、功利主義の帰結主義について多面的に考察し、適切に表現している。 c:功利主義の理解を通して、幸福の見方や考え方、社会のあるべき姿について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		2. 社会の進歩と変革	a:実証主義や社会進化論について理解している。 空想的社会主義の意義を理解している。 マルクスの疎外や唯物史観などの思想内容を理解している。 マルクスの思想について、原典資料から適切に読み取っている。 b: p. 114 の Check!について、労働の疎外とはどのような状況か、具体例をあげて多面的に考察し、適切に表現している。 p. 114 の TRY!について、現代において、社会主義にはどのような意義があるのか考察し、適切に表現している。 c:社会進歩の負の側面へも焦点を当てることを通して、現代社会のさまざまな事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる社会のあり方を構想しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		3. 真理と行為―プラグマティズム	a:真理とは有用であってこそ意味があるというプラグマティズムの考え方について理解している。 b:真理が個人や時代によって異なるという見立てについて、多面的に考察し、適切に表現している。 c:プラグマティズムの思想の理解を通して、個人や社会に関する真理について追究しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		第5節　近代的人間の見直し 1. 主体性の再定義―実存主義	a:実存主義の思想を原典資料から読み取って理解している。 キルケゴールが理想とした生き方を理解している。 ニーチェの批判する内容を理解し、人間に何を求めているのかニーチェの言葉から読み取っている。 サルトルにとって、人間存在とはどのようなものであるか理解している。 b: p. 119 の Check!を通じて、ニーチェのいう「人間を超える」といわれるときの「人間」とは何なのか、自分なりに考察し、適切に表現している。 p. 121 の Check!を通じて、ハイデガーのいう全人生を賭けた「決意」が、世人として失われている状態を解消するとはどういうことか、具体的な例をあげて、考察している。 p. 122 の TRY!を通じて、「私」のなかにある「私」をこえたものとは何か、実存主義の思想をふまえて、多面的に考察し、適切に表現している。 c:実存主義の理解を通して、人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		2. 近代的な「私」の問い直し―無意識の発見	a:フロイトの心の構造について理解している。 b: p. 124 の Check!を通じて、明確に意識されず蓄積される記憶の例として、どのようなものがあるか考察し、適切に例をあげている。フロイトとユングの違いをふまえて、無意識とはどのような意味をもつのかについて、多面的に考察し、適切に表現している。 c: 精神分析の理解を通して、自我とは何かを考えたり、人間としてのあり方生き方を考察したりして、自分とは何であるか問い直そうとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		3. 思考は言語にしばられる―言語論的転回	a:ソシュールやウィトゲンシュタインなどの思想について理解している。 b:思考が言語の枠組みのなかで行われていることについて、多面的に考察し、適切に表現している。p. 128 の TRY!①を通じて、「自己」を中心とする考え方と、言語構造の上に「私」が成立する考え方をまとめ、比較し、そこから考察することを適切に表現している。 c: 言語論や言語哲学の理解を通して、私としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		4. 社会関係のなかでの「私」の成立―構造主義	a:野生の思考が意味するところについて理解している。 理性と狂気の区別が何によってなされているかについて理解している。 b:構造主義の思想について、日常生活の具体的な事象や課題を取り上げて多面的に考察し、適切に表現している。 p. 128 の TRY!②を通じて、構造主義やポスト構造主義の主張をふまえ、いまある社会をよりよいものへとかえていくにはどうすればよいか考察し、適切に表現している。 c:構造主義の理解を通して、人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		第6節　現代の暴力に抗して 1. 生命への畏敬と非暴力の思想	a:シュヴァイツァーが生命への畏敬で訴えていることについて理解している。 ガンディーは暴力に対してどのような態度を取るべきとしたか理解している。 b:シュヴァイツァーやガンディーの思想をふまえて、人間の暴力的な行為に対してどう向き合うべきであるかについて多面的に考察し、適切に表現している。 c:シュヴァイツァーやガンディーの理解を通して、人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		2. 暴力のあとで―理性、人間、他者の見直し	a: フランクフルト学派が何を批判しているかについて理解している。 アーレントが重要視する活動について理解している。 p. 132 の Check!を通じて、「他者の顔」を適切に読み取っている。 b:フランクフルト学派の思想をふまえて、理性は本来何をすべきであるかについて多面的に考察し、適切に表現している。 c:本単元の思想の理解を通して、人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		3. 暴力のなかで―公共性、正義、共通善の実現	a:リベラリズムとリバタリアニズムの思想の対立点を理解している。 共同体主義の思想を理解している。 b: p. 135 の TRY!を通じて、自由や平等など現代の様々な諸課題について具体的なテーマを取り上げ、多角的・多面的に考察し、適切に表現している。 c: 公共性や正義の思想の理解を通して、人間としてのあり方生き方や社会に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

	第4章国際社会に生きる日本人としての自覚	第1節　古代日本人の思想 1. 日本人の自然観と気質	a:和辻哲郎の文化の類型について理解している。 日本人の特質を理解するに当たり、古事記や万葉集などの原典資料を適切に読み取っている。 b: p. 141 の Check!について、当時の人々は四季をどのように味わっていたか、また、現代の私たちの士気の感じ方と共通する点や異なっている点を考察し、適切に表現している。 p. 141 の TRY!を通じて、現代にも受け継がれている伝統行事では、どのように花鳥風月を味わうことができるか、適切に表現している。 c:日本人の気質や文化の理解を通して、日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		2. 神との関わりと道徳観	a:日本人の道徳観が日本の自然や古代神道などと関連していることについて理解している。 日本人の道徳観を理解するに当たり、古事記などの原典資料を適切に読み取っている。 b: p. 142 の Check!について、日本人の道徳観や人生観と、世界のそれとではどのような違いがあるか多面的に考察し、適切に表現している。 p. 145 の TRY!を通じて、罪に対する日本人の対処の仕方を自分なりにまとめて、適切に表現している。 c:日本人の道徳観の理解を通して、日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		第2節　日本の仏教思想 1. 仏教の受容	a:仏教の受容やそれが浸透した流れについて理解している。 p. 147 の Check!を通じて、聖徳太子が仏教にみた人間観を適切に読み取っている。 b:仏教の受容やそれが浸透した流れについて、自らの経験や考え方を手がかりに多面的に考察し、適切に表現している。 c:仏教の受容やそれが浸透した流れへの深い理解を通して、日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		2. 仏教の日本的展開―鎌倉仏教	a:鎌倉時代の仏教の特質を理解している。 p. 152 の Check!を通じて、資料を読んで「善人」と「悪人」とはどのような存在であるか、適切に読み取っている。 b: p. 154 の Check!を通じて、「自己を忘れる」という言葉の意味を考察し、適切に表現している。 p. 155 の Check!を通じて、日蓮が、この世界を仏国土にすることを強く求めた理由を考察し、適切に表現している。 p. 155 の TRY!について、日本の仏教が身分や階級をこえて広く人々に受け入れられた理由を適切に表現している。 c: 鎌倉時代の仏教の理解を通して、日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		3. 仏教と日本文化	a:日本の伝統的な文化や文芸、その美意識について理解している。 日本人の和歌や文化、文芸などの視聴覚資料から適切に読み取っている。 b:日本人の美意識や無常観などのものの見方や考え方について、多面的に考察し、適切に表現している。 c:日本人の美意識や無常観などのものの見方や考え方の理解を通して、日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		第3節　近世日本の思想 1. 儒教の受容と朱子学	a:朱子学の考え方や、江戸幕府にとってそれがどのような意味をもったかについて理解している。 b:江戸時代において幕府が朱子学を重視した背景について、多面的に考察し、適切に表現している。 c:朱子学への理解を通して、時代背景から社会が重視した考え方があることを知って、それが人々にどのような影響を与えるかについて主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		2. 日本陽明学	a:中江藤樹が強調した孝や良知などの考え方を理解している。 b:外面的な礼儀を重視する朱子学と、実践を重視する日本陽明学を比較して、それぞれの具体的な事例をあげて説明し、両者の特質を多面的に考察し、適切に表現している。 c:日本陽明学の理解を通して、実践を重視するものの見方や考え方をふまえて、自らの考え方がどうあるべきかについて主体的に追究したり、思索を深めようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		3. 日本的儒学の形成―古学	a:山鹿走行が提唱した士道や伊藤仁斎の古義学、荻生徂徠の古文辞学の考え方について理解している。 伊藤仁斎の誠や荻生徂徠の安天下の道などの概念を原典資料から適切に読み取っている。 b: p. 162 の Check!を通じて、誠がどのような実践によって成立するのか、多面的に考察し、適切に表現している。 p. 163 の TRY!について、朱子学と、伊藤仁斎・荻生徂徠の人間に対する理解の違いを、自己と他者、あるいは個人と共同体という観点からまとめ、適切に表現している。 c:古学の理解を通して、日本人としてのあり方生き方について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		4. 国学の形成	a:国学がおこった背景や本居宣長が理想とした古代日本人がもつものの見方や考え方について理解している。 万葉集や源氏物語、本居などの原典資料について適切に読み取っている。 b: p. 165 の Check!を通じて、本居宣長と朱子学とでは、人間の本性に対する理解はどのように違うのか、多面的に考察し、適切に表現している。 c: 国学の理解を通して、日本としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、日本人として大切としたいものの見方や考え方への理解を深めようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		5. 民衆の思想	a:石田梅岩が提唱した石門心学や安藤昌益の万人直耕、二宮尊徳の分度と推譲など庶民の思想について理解している。 石田梅岩や二宮尊徳の思想を原典資料から適切に読み取っている。 b:庶民の思想について、現代でその考え方をとらえ直すとき、どのように評価できるか、多面的に考察し、適切に表現している。 c: 庶民の思想への理解を通して、日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、日本人としてよりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		6. 幕末の思想	a:高野長英や渡辺崋山の主張や、佐久間象山の「東洋道徳、西洋芸術」の考え方を知り、西洋の学術がどう普及し展開されていくか理解している。 b:当時の日本において尊王攘夷と開国佐幕との対立について、当時の時代状況をふまえて多角的・多面的に考察し、適切に表現している。 p. 169 の Check!を通じて、小楠は、東洋の伝統精神と西洋文明との関係をどのようなものととらえていたのか考察し、適切に表現している。 c:幕末の思想の理解を通して、日本人としてのあり方生き方について主体的に追究したり、よりよい社会形成のために何を基準に判断することが望ましいのか考えを深めようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		第4節　西洋思想の受容と展開 1. 啓蒙思想と自由民権思想	a:明治初期の社会変化や啓蒙思想の流れを理解している。 p. 172 の Check!を通じて、福沢諭吉の天賦人権論を適切に読み取っている。 b:中江兆民の恩賜的民権と恢復的民権について、現代日本の民主主義や人権意識をふまえて、p. 174 の Check!を利用して多面的に考察し、適切に表現している。 p. 174 の TRY!を通じて、明治の思想家たちの思索の展開をふまえ、現代の日本ではどのくらい人権思想が定着したか考察し、適切に表現している。 c:明治以降の啓蒙思想や自由民権運動への理解を通して、日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、よりよい社会を形成しようと現代社会の課題について関心を広げようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		2. キリスト教の受容	a:内村鑑三の二つのＪ、無教会主義などの考え方をキリスト教の精神をふまえて理解している。 内村鑑三の思想を原典資料から適切に読み取っている。 b: p. 176 の Check!を通じて、イエスと日本の「二つのＪ」は、どのような関係にあったか多面的に考察し、適切に表現している。 c:キリスト教の受容の理解を通して、キリスト教が日本人としてのあり方生き方とどのように関係し、どのようにとらえればよいかについて主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		3. 国家主義の台頭と社会主義思想	a:国家主義や国粋主義、社会主義の基本的な考え方を理解している。 p. 177 の Check!を通じて、西村が、日本は道徳の規準を喪失していると考えた理由を資料から適切に読み取っている。 b:産業の発達や日清・日露戦争の時代において、社会主義がどのような役割を果たそうとしたかについて、多角的・多面的に考察し、適切に表現している。 c:国家主義や社会主義の理解を通して、日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、よりよい社会を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		4. 近代的自我の確立	a:夏目漱石の個人主義や平塚らいてうの女性解放論など近代的自我の芽生えについて理解している。 ロマン主義や自然主義文学、女性解放論などについて原典資料からその考えを適切に読み取っている。 b: p. 180 の Check!を通じて、「自己本位」と利己主義、「他人本位」と他者の尊重はどう違うか、具体的な例をあげながら多面的に考察し、適切に表現している。 p. 181 の TRY!を通じて、明治から大正にかけて求められた近代的理念は、現在どのくらい実現したか考察し、適切に表現している。 c:近代的自我への理解を通して、日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		5. 近代日本哲学の成立と超国家主義	a:西田幾多郎の純粋経験や善の考え方について理解している。 和辻哲郎の間柄的存在について、原典資料から適切に読み取っている。 b: p. 183 の Check!を通じて、デカルトと和辻哲郎とでは、確実さの理解にどのような違いがあるか、多面的に考察し、適切に表現している。 c:日本独自の思想の理解を通して、日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表
		6. 伝統の自覚と新たな課題	a:民俗学が注目した日本人の伝統や考え方について理解している。 坂口安吾や丸山眞男が大戦についてどのような思想的反省を加えたか理解している。 b: p. 186 の Check!を通じて、自らの経験や現在の社会でどのような状況として見られ、それはどうすれば改善されうるのか、多面的に考察し、適切に表現している。 p. 186 の TRY!を通じて、日本人の伝統的な死生観・自然観は、生命倫理や環境倫理などの現代的課題を考察するうえでどのような意義をもつか考えをまとめ、適切に表現している。 c:本単元の理解を通して、国際社会に生きる日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

	第5章自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理	第1節　生命の倫理	a:インフォームド・コンセントやSOL、安楽死・尊厳死など生命倫理に関する用語や概念を理解している。 代理出産や臓器移植、ゲノム編集などの生命倫理の問題の賛否の考えを適切にまとめている。 b: p. 198 の Opinion「卵子提供や代理出産を認めるべきか」、p. 199 の Opinion「親族への優先提供」、p. 201 の Opinion「ゲノム編集の人間への応用」について考察し、適切に表現している。 生命をめぐる倫理的課題のうち、特に関心のあるテーマを取り上げ、どのような争点があるかを整理して、多角的・多面的に考察し、適切に表現している。 c:生命倫理への理解を通して、人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		第2節　環境の倫理	a:環境問題解決に向けた取り組みについて理解している。 ピーター=シンガーやレオポルド、ハンス=ヨナスなどの思想家の主張を理解している。 p.205 の Check!について、適切に読み取っている。 b: p.205 の TRY!を通じて、環境問題の解決に向けて何ができるか考察したり、ロールズの正義論の観点から現在世代と将来世代の間に平等や正義が成り立つか考え、適切に表現している。 環境をめぐる倫理的課題のうち、特に関心のあるテーマを取り上げ、どのような争点があるかを整理して、多角的・多面的に考察し、適切に表現している。 c:環境倫理への理解を通して、環境保全や人間としてのあり方生き方に関わる課題について主体的に追究しようとしたり、問題解決に向けて自ら考え自ら行動しようとしたりしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		第3節　科学技術の倫理	a:プライバシーの権利や情報リテラシー、人工知能など科学技術をめぐる用語や概念について理解している。 インターネットによる人権侵害に関する人権侵害など科学技術をめぐる社会問題に関する統計資料について適切に読み取っている。 b: p.209 の Opinion「AI やロボットが社会にもたらす利益と課題」について考察し、適切に表現している。 科学技術をめぐる倫理的課題のうち、特に関心のあるテーマを取り上げ、どのような争点があるかを整理して、多角的・多面的に考察し、適切に表現している。 c:科学技術をめぐる倫理的課題への理解を通して、人間としてのあり方生き方を主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる社会を形成しようとしたりしている。 p.209 の Check!を通じて、科学技術を私たちの生活にどう生かせばよいかについて自ら考え、よりよい世界のあり方を追究しようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

	第6章社会と文化にかかわる諸課題と倫理	第1節　福祉の課題	a:ケアの倫理やダイバーシティ＆インクルージョンなどの考え方について理解している。 高齢化など福祉の課題に関する統計資料について適切に読み取っている。 b: p.211 の Check!について、ロールズとギリガンは社会の制度や道徳のあるべき姿について、どのように主張しているか読み取り、それを多面的に考察し、適切に表現している。 人類の福祉をめぐる倫理的課題のうち、特に関心のあるテーマを取り上げ、どのような争点があるかを整理して、多角的・多面的に考察し、適切に表現している。 c:人類の福祉への理解を通して、人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。 p.212 の TRY!を通じて、誰もが生きやすい社会の実現に向けて、私たちが考え、行動できることなどを考え、自らよりよい社会の形成にかかわろうとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		第2節　文化と宗教の課題	a:文化相対主義やオリエンタリズム、宗教多元主義など、文化や宗教をめぐる用語や概念を理解している。 グローバル化に関する統計資料について適切に読み取っている。 b: p.215 の Check!を通じて、どうして宗教が必要なのか多角的・多面的に考察し、適切に表現している。 文化と宗教をめぐる倫理的課題のうち、特に関心のあるテーマを取り上げ、どのような争点があるかを整理して、多角的・多面的に考察し、適切に表現している。 c:文化と宗教への理解を通して、人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる社会を形成しようとしたりしている。 p.215 の TRY!を通じて、多文化共生のためにどのような取り組みがおこなわれているか調べようとしたり、留学生などをもてなす場合、どのような配慮や態度が求められるか考えを深めたりしようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		第3節　平和の課題	a:世界の紛争やテロが発生する背景や原因について理解している。 世界の平和や紛争・テロに関する統計資料について適切に読み取っている。 b: p.217 の Check!を通じて、国際警察力が実際に発動された事例にどのようなものがあるか、また、二つの「モンロー主義の拡張」の関係について考察し、適切に表現している。 世界の平和をめぐる倫理的課題のうち、特に関心のあるテーマを取り上げ、どのような争点があるかを整理し、多角的・多面的に考察し、適切に表現している。 c:世界の平和への理解を通して、人間としてのあり方生き方について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる社会を形成しようとしたりしている。 p.217 の TRY!を通じて、「社会の変化のきざし」として考えられるものをあげ、未来の社会でどう生きるべきか、自ら考えを深めようとしている。	小テスト 定期考査 プリント	定期考査 レポート プリント	活動の様子の観察 レポート 口頭発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度